

# 平成29年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 地域経営室

## 1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市錦生市民センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	別紙 資料1のとおり
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	別紙 資料2のとおり
(4) 市支出額	別紙 資料3のとおり
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターの利用の許可に関する事</li> <li>・市民センターの施設及び設備器具の維持管理に関する事</li> <li>・名張市市民センター条例第2条に掲げる事業に関する事</li> <li>・その他名張市が別に定める業務</li> </ul>

## 2 提案内容の達成状況 (特記事項)

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	「公立性・中立性の確保」、「インターネットを活用した情報提供」、「障害者・高齢者等に配慮した事業の実施」及び「地域の実情に応じた弾力的運営」について提案があったが、利用者アンケート、指定管理者による自己評価を基にチェックが行われ、また積み残しの課題もないことから、提案どおり達成されている。
施設効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)に向けた取組	「市民センターだより・インターネット等による参加者募集」、「関係団体等との連携」、「主催講座・学級の実施」、「利用者アンケートの実施」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	「施設の定期的確認」、「清潔の保持」、「役員会等による業務点検」、「第三者の活用による保守点検等」、「防犯防災マニュアルの整備」、「緊急体制の確保」、「経費節減努力」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設管理を的確に行う 人員配置・職員研修等への取組	「生涯学習責任者及び事務員の配置」、「研修会への参加」、「他の市民センターとの情報交換・交流」等について提案があったが、事務員は協定書付属の業務仕様書の配置基準以上に配置されており、研修会等にも積極的な参加実績があることから、提案どおり達成されている。

### 管理運営の成果

生涯学習活動の適正な支援が行われているか	歴史講座は毎年人気であり、錦生地域以外の方の参加も多い。他地区市民センターだよりを見て講座内容を聞いたりしながら市民センター間の交流も図り、地域に合った生涯学習活動を広げられている。
地域づくりの拠点(住民の居場所として住民の活動の拠点)としての役	「いきいき料理教室」や「家庭料理大集合」、「もちつき大会」を通じて、地域における食育や世代間交流を推進している。また、「高齢者交流会」や「ひとり暮らしの高齢者のつどい」等の地域福祉活動、地区文化祭の開催などにより地域住民が市民センターを訪れ、利用する機会が多

割を果たしているか	くなくなり、活動拠点としての役割を果たしている。
-----------	--------------------------

### 3 施設設置者（名張市）の総合評価

錦生地域においては、錦生市民センターを中心に近接の名張錦生ふさとパーク内にある「名張市郷土資料館」、「木の子の里錦生」と連携し、地域づくり活動や生涯学習活動、コミュニティビジネスなどさまざまな事業が展開されており、これらの事業を通じて、住民同士の交流や地域の活性化が図られている。

今後、地域課題を整理し、その解決を図るための事業内容の検討とともに、多くの人に情報発信し、これまで参加してこなかった新たな参加者を増やしていけるように、広報誌の工夫やホームページの随時更新等に努められたい。